

学校法人仙台城南高等学校

生徒の「探求・課題研究会」を実施しました



宮城第一信用金庫では、学校法人仙台城南高等学校様からのご依頼により、令和3年11月19日（金）に「探求・課題研究会」を開催いたしました。この企画は、同校探求科の生徒さまを対象とした民間企業等による「マネースクール」の一環として実施されたものです。当金庫として初めて同校の依頼を受け、参加させていただくこととなりました。



【仙台城南高等学校 研究会の様子】

研究会の中では「信用金庫および当金庫の概要や経営理念・方針」、また「信用金庫と銀行の違い」、「信用金庫の位置づけ・ネットワークや役割」、「当金庫のSDGs宣言に係る活動」などを講義いたしました。



生徒さまからは「信用金庫の位置づけや役割、また日常で取り扱う金融業務だけでなく金融以外の活動を大切にしているということについてよく知ることができた」「信用金庫は金融面だけではなく、東日本大震災や新型コロナウイルスなどで打撃を受けているお客様への伴走支援を積極的に行っていることを知った」「地域の方々とのつながりを大事にしていることなどを学べて有意義で貴重な時間だった」「何事も誠実に行うことが大切ということ意識したい」「地域金融機関・信用金庫の存在意義を改めて考える機会があって良かった」等の感想をいただきました。講師を務めた職員によりますと、今回受講された生徒さまは講義の内容を熱心に聞いてくださるだけでなく積極的な質疑応答もあり、大変手応えを感じるものであったとのことです。

生徒の皆さま大変お疲れさまでした。今回の「探求・課題研究」が、受講された生徒さまのお役に立てたことを役職員一同、とても嬉しく思います。

なお、当金庫では、今後もこのような活動を通して様々な地域貢献活動を推進して参ります。



宮城第一信用金庫